

# 新町 洞爺湖町

## 誕生を迎えて

**新** 年明けましておめでとございます。

今年も町民の皆様にとつて良  
い年でありますように、心から  
お祈り申し上げます。

日頃、町政のさまざまな分野

にわたりまして、皆様の温かい

ご理解とご協力をいただき誠に

ありがとうございます。

昨年を振り返りますと、国内

では、年末相次いで起きた少女

殺害事件やJR西日本の列車脱

線事故、建物の耐

震強度偽装の問題

に象徴されるよう

に、卑劣な犯罪や

人知を超えた事件

が多数発生し、社

会不安を一層つの

らせる事態となっ

ております。

目を町内に転じ

ますと、有珠山噴

火から5年という

節目を迎え、町の

復旧事業も新国道

230号トンネル

内に敷設する下水

道管工事を除きほ

ぼ完了したことから、これまで

の全国からのご支援に感謝し

て、「有珠山噴火5年復興感謝

祭inとうや湖」事業を展開して

まいりました。

5月の記念セレモニーを皮切

りに、7月には11年ぶりに箱根

町の大名行列を招聘。そのほ

か噴火再現花火大会やNHKB

Sふるさと「皆様劇場」の公開

録画、クリスマスイベントなど

多彩な催しで虻田町の復興をア

ピールいたしました。

そのほか、洞爺湖温泉の各ホ

テルなどに設置された手湯や足

湯、10月1日に道の駅に登録さ

れた「あぶた」などの新たな観

光資源の誕生は、確実に虻田町

の復興を後押しする存在として

大いに期待するところでありま

す。

いよいよ今年3月27日には、

洞爺村と合併して新町洞爺湖町

が誕生いたします。

振り返れば当時の虻田村から

洞爺村が分村したのが大正6年

(1920年)、86年前のこと

でした。

2000年有珠山噴火以降、

高齢化社会の到来、地方分権や

国の三位一体改革による財政問

題など市町村を取りまく環境

は、いつそう厳しさを増しまし

た。

このような状況の中で、虻田

町の将来を考える時、合併への

道が今できうる最善策と判断

し、町民の皆様の理解を得て洞

爺村との合併を決断いたしました。

現在、事務事業の調整協議や

条例や規則などの調整など、合

併に向けての準備作業は大詰め

を迎えております。

長い歴史と伝統をもち、洞爺

湖を囲む両町村が一つにまと

まって、恵まれた自然を生かし、

農業や漁業の第一次産業と観光

の連携により、新町の振興、発

展がさらに図られることを心か

ら願うものであります。

町民の皆様におかれまして

も、新町洞爺湖町の地域特性を

活かした町づくりを今後ともご

協力をいただき、ともどもに魅

力ある洞爺湖町をつくりあげて  
いこうではありませんか。

なお、例年町民各位から年賀  
のご挨拶をいただいております  
が、返礼は公職選挙法に抵触す  
ることから、まことに申し訳あ  
りませんが、さし控えさせてい  
ただきますことをご理解いただ  
きたいと存じます。

虻田町長 長崎良夫

